

# 道標



進路広報第130号  
2021.7.20  
発行 越谷南高等学校  
進路指導部  
題字 川嶋健二

## 「受け身にならないことの大切さ」

教頭 加藤 悟

「茶色の朝」という本を読んだことはありますか。簡単に言ってしまうと、ある「国」にあるあらゆるもの全てが茶色になってしまうというお話です。

この本の日本語訳の最後に・哲学者の高橋哲哉さんという方が、「やりすぎさないこと、考えつづけること」というメッセージを書かれています。その中の一部をここで紹介させていただきます。

「なんだかんだ言っても、私達はまだ自由じゃないか。権力の弾圧など受けたことはないし、毎日の生活でとくに不自由を感じることはない。いろいろな法律が国家統制を強めるとか言うけど、いまのこの自由が将来なくなってしまうなど、とても想像できない。」

こんなふうを感じる人にこそ、『茶色の朝』の物語の意味を十分に考えてほしいと思います。私たちがいまも感じているこうした「自由」—それが相当程度「茶色」に染まった自由であり、「茶色の自由」でないと言われても仕方がないのでしょうか？

私たちがすでに「茶色に守られた自由」の中において、まさにそのために自分たちが染まっている「茶色」の濃さを実感できずに、「それも悪くない」と感じているだけだとしたら、どうなるのでしょうか？まさにそのために、自分たちを待ち受けている「茶色の朝」の衝撃を予感すらできなくなっているのだとしたら？

現代の日本社会の状況を見るかぎり、近い将来、私たちが「茶色の朝」を迎えることはないとは断言する自信は、私にはありません。

「では、どうすればいいのか」と言われるかもしれません。

現状の危険性を訴える議論にたいして、「現状はわかった。では、具体的にどうすればいいのか教えてほしい」という反応が返ってくることはよくありますが、そんなとき、一抹の懸念を覚えます。仕事の性格も、生活の場所も、社会的責任の大きさもみなそれぞれ違う人びとに、それぞれが「どうすればいいのか」を具体的に指示することは困難だ、というだけではありません。自分が「具体的にどうすればいいのか」はあくまで自分自身が考え、決定すべきことがらです。

(引用:茶色の朝 P.44-P.45 大月書店 2003)

これからの社会を生き抜く皆さんには、自分で考えることが大切になってきます。何もない状況で、人は考えたり、判断をしたりすることはできないので、日頃から情報を収集することや、その情報を整理分析することが必要です。

このことは、日頃の学習と関係ないように見えるかもしれませんが、密接に関係していると思います。これまでの学習を振り返ってみてください。例えば、授業中は、先生の話の聞くだけになっていたり、板書をただ書き写したりするだけになっていませんか。定期考査や模擬試験などの振り返りは、間違えたところの正答をただ書き写して終わりになっていませんか。

学力を上げていくためには、授業等で得た知識を、分析し、まとめたり、問題に答えたりすることが大切になってきます。日頃から受け身ならず、考えることを大切にして学習をすすめていきましょう。



# 各学年主任よりメッセージ

## 「未来への贈りもの」

まんえん防止法などの関係で、登校が30分遅れになったり部活動の活動時間が短くなったりしています。君達が自由に使える時間が例年になく多いです。その自由な時間を何に使うのかで、大人になってからの何十年間が決まります。大学や職業について調べたり何かを身につける事に費やしている人と、ただの楽な時間に行っている人とは、身につく知識や力が違うのは当然ですね。高校生の1年間は将来何十年分の人生を決める力を持っています。そんな力を持った時間を過ごせるのは今だけです。今苦労して将来何十年の幸せを手に入れるか、今楽をして将来何十年も苦しむのか、決めるのはあなたです。



1 学年主任  
萩原 亮彦 先生

## 「最高の夏休みを」

夏休みは、あっという間に終わりますよね。はじめは、何しようかなとか考えるけど40日間は、すぐにやってくる。そして、振り返ったとき、充実した夏休みを過ごしたのか、何もなかったで終わるのかあなたはどちらですか？

高校2年生の夏休みって高校生活を定める大事な時間だと思います。部活動にがんばるのか、勉強にがんばるのか、両方ががんばるのか、とにかく中途半端ではなく目一杯やってください。卒業して、高校生活で一番がんばったことは何かと言われたら堂々と答えられる夏休みを送ってください。



2 学年主任  
深井 久美 先生

## 「人生における学び」

「人生で一番大事なことは勝つことでも、結果を出すことでもない。目標に向かって過ごした一分一秒、自分の人生を変えようとがむしゃらに努力したその道のり、熱意、そして仲間への想い。それこそ価値がある。」最近見たあるドラマの最終回の言葉である。

今君たちは、進路実現という目標に向け日々努力している。しかし志望校に合格するという結果だけが全てではない。覚悟を持って、本気で取り組んだ時間が最大の「学び」であると私も思う。そして今、受験生にとって大切な夏を迎えようとしている。この受験が終わったときに無駄ではない時間を過ごせたと胸を張って言えるよう、この夏は最大の努力をしてください。

もちろん、全員が志望校に合格することを主任として祈っている。頑張り！



3 学年主任  
飯島 毅 先生

## 「進路室指導室より」

進路指導室は夏休みも利用できます。  
平日 10:00~16:00。  
(ただし、土日祝日と8月12~18日は閉室となります)



充実したよい夏休みを！